

令和元年度 学 校 評 価 報 告

草加市立八幡小学校

(令和2年2月10日作成)

1 学校教育目標	
勉強する子 良い子 強い子	
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
・やる気で勉強する子の育成 ・はっきりあいさつする子の育成 ・たくさん運動する子の育成	○児童の学力、体力、規律ある態度の向上が図られた。 ○「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を意識した授業を展開するとともに、ICT機器の活用を進め、児童の学習意欲を高め、学習内容の理解に寄与することができた。 ○通常学級における特別な支援を要する児童に対し、各種支援員等を重点的に配置して教育活動を進め、担任の負担を軽減した。 ●主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努め、学力向上を図っていく。 ●特別の教科道德の評価についてさらに研修を進めていく。 ●新体力テストの向上に向けて、体育授業等における継続した方策を講じる。 ●幼稚園、保育園との連携をさらに強化することで、一貫教育を発展させていく。

4 評価表 ※評価基準 [A：十分達成している B：おおむね達成している C：やや不十分である D：不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○計画的に運営され、見通しをもって活動することができた。 ●校務分掌の見直しと業務内容の再編により負担軽減を図る。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○研修主任を中心に実践的な研究を進めることができ、授業改善を図ることができた。 ●研究主題及び主題に対する手立てをより具体化し、授業公開の機会を広げていく。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	B	○定期の安全点検及び日頃の巡視等で施設設備を管理し、瑕疵による事故は皆無であった。 ●職員一人一人の危機管理意識を高め、より一層の安全管理に努めていく。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○個人情報の取り扱いを全職員で確認し、情報管理を徹底できた。 ○ICT機器の活用ができた。 ●新たに導入される校務支援システムを安全かつ有効に活用していく。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会、学校評議員制度の活用 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	B	○学校だよりの地域等への配付、ホームページの計画的更新等で地域等への情報発信ができた。 ○学校評議員会で得られた地域の声を、指導に生かした。 ●学校応援団を組織化し、計画的な活用を図る。
	⑥幼保小連携 小中一貫教育	・保育園、幼稚園との連携 ・目指す子ども像の実現に向けた取組 ・9年間を通じた教育課程の編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○川柳中学校区の教員合同研修会等の開催や連携教員の活用、川柳中学生徒による小学校での合唱発表等を行い、小中一貫教育を継続させた。 ○関係幼稚園・保育園と綿密に日程を調整したことで、関係園園児全員が2学期、3学期の交流会に参加できた。 ●中学校との連携を深め、一貫教育のさらなる充実につなげていく。

草加市立八幡小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	15年間を通じた教育課程の編成、実施 - 教育計画の作成 - 教育活動の評価 - 目標、方針の周知 - 授業時数の配当、確保	A	○十分な授業の量的確保をし、年間指導計画が生かされる教育課程が実施された。 ○計画に沿った教育活動が行えた。 ●教育活動の評価をさらに充実させる。
	②教科指導	- 指導計画の立案 - 主体的・対話的で深い学びの視점에立った授業改善 - 評価、評定の工夫 - 外部人材の活用	B	○「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を意識した授業改善に努めた。 ○ICT機器が活用され、児童の学習意欲の喚起、学習内容の理解に役立った。 ●授業の振り返りを充実させ、学びをつなげていくことで学力向上を図っていく。
	③道徳教育	- 全体計画の作成 - 各教科との関連 - 道徳的実践力の育成 - 家庭、地域社会との連携	B	○指導過程及び評価の方法を定着させ、児童の道徳的心情を育むことに努めた。 ○全学年学校公開での授業公開を実施し、家庭との連携を深めた。 ●対話的学びから深い学びにつなげるための教材研究（発問）を充実させていく。
	④外国語活動	- 指導計画の立案 - 指導方法の工夫と改善 - 評価、評定の工夫 - 各教科、道徳教育との関連 - 中学校との連携	A	○外国語活動の実践的な研修がなされ、外国語活動担当教員及び担任がALTと楽しく授業を行い、コミュニケーションを図る素地の育成ができた。 ●評価について、さらに研修を進めていく。
	⑤特別活動	- 指導計画の立案 - 学級活動、学級経営 - 学校行事 - 児童会活動	B	○発達段階に応じた活動内容を工夫し、主体的な活動が増えてきている。 ○ペア学習やグループ活動を通じた協働学習が定着してきている。 ●児童会運営と活動の充実を図っていく。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	- 指導計画の立案 - 指導内容の充実 - 指導方法の工夫と改善 - 評価の工夫 - 地域の人材・物的資源の活用	A	○各学年が、問題解決や探求活動に主体的に取り組み、主体的な授業を展開した。 ●「学ぼう！ふるさと草加」の充実を図る。
	⑦生徒指導	- 組織的な生徒指導 - 問題行動への対処 - 教育相談、児童理解 - 基本的生活習慣の定着 - 保護者、地域、諸機関との連携	B	○毎月の生徒指導委員会により問題行動等の共通理解が図れ、早期解決につながった。 ○ハートカードや生活アンケートの実施により、早期発見・対処ができています。 ●全ての児童があいさつや返事がしっかりできるよう、指導を徹底していく。
	⑧キャリア教育	- 計画の立案 - 指導内容の充実 - 中学校との連携 - 啓発的経験の充実 - 家庭、地域との連携強化	B	○社会、学級活動、総合的な学習の時間、学級での係活動等で職業的自立に必要な基盤となる能力や態度の育成を図った。 ●年間指導計画への位置づけを明確にする。
	⑨特別支援教育	- 個別の指導計画、支援計画 - 指導方法の工夫と改善 - 通常学級との交流 - 諸機関との連携 - 校内支援体制の整備	A	○コーディネーターを中心に、校内委員会等が充実し、研修や交流教育を通して特別支援教育への理解が深まり、児童への日々の指導に向上した。 ○ユニバーサルデザインが進められ、教員の意識向上が図られた。 ●通常学級と特別支援学級との交流活動を充実させ、相互理解を深めていく。
	⑩学校図書館教育	- 指導計画、支援計画の作成 - 図書館補助員の活用 - 諸機関との連携 - 図書館の整備	A	○読書強化月間の取組が効果的だった。 ○昨年度よりも学校全体で図書の貸出数が増加し、読書活動の充実が図れた。 ●クラス間の格差を解消していく。

	⑪情報教育	・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ICT機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進	B	○大型電子黒板やタブレット端末を積極的に授業に用いて、わかる、楽しい授業の展開の一端を担った。 ●プログラミング教育について研修を進め、実践していく。
--	-------	--	---	--

(様式1・小学校用③)

草加市立八幡小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
	⑫人権教育	・全体教育の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実	A	○人権問題を自分の問題として捉え、人権問題と自分との関わりをしっかりと見つめるよう、人権作文や標語、「めぐみ」の視聴に取り組んだ。 ●インターネットによる人権侵害や性同一性障害など、近年における様々な人権問題にも正しく理解し行動できる児童を育成する。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	①学力向上への取組	・組織的な学力向上 ・校内研修の充実	A	○全国及び県の学力調査では、全学年で国語の平均点が国や市の平均を上回った。また、算数では、県の調査で2/3の学年、国の調査で2/3の項目で平均を上回った。 ○県の学力調査では昨年度からの伸びに課題が見られたが、課題を分析し改善した結果、市の学力テストで学力の伸びが見られた ●算数では、他の領域と比較して「数と計算」領域にどの学年でも課題が見られた。
	②体力の向上	・授業の工夫改善 ・年間指導計画の改善 ・授業外活動の推進	A	○学校全体で、体育の授業や休み時間等にグリーンコースマラソンに取り組み走力を高めた。50m走はほとんどの学年で県平均を上回り、シャトルランでも県平均以上または平均に近い結果を出した。 ○休み時間にスポーツ教室を実施し、運動への興味関心を高め、技能の向上を図った。 ●男女の握力と女子の投力に課題が見られる。準備運動時にグーパー運動を取り入れる等、継続した取り組みを行っていく。
	③規律ある態度の向上	・学校生活での取組 ・家庭との連携	B	○集団行動における規律が身につけてきている。特に高学年の集会時の素早い移動や静かに待つ姿勢は下級生のお手本になっている。 ●学校アンケートでは90%の児童があいさつや返事ができると答えていたが、保護者の回答は75%であった。全ての児童が「はっきりあいさつ」できるよう、継続して指導していく。

5 総合評価（学校関係者評価を含む）

- ・校長の経営方針及び学校の重点目標を全教職員が共通理解し、共通指導を行った。そのため、前年度に引き続き児童の学力、体力、規律ある態度の向上が図られた。
- ・「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を毎時間の授業の中に取り入れ、児童の主体的で対話的な活動を重視した授業を展開したことにより、児童の表現力・情報収集力が高まり、意欲的に学習する児童が増えた。
- ・学校行事や日程の調整を図り、学年会や研修における教材研究の時間等放課後の時間をしっかり確保したことが職員の負担軽減となり、勤務時間外在校時間の減少につながった。

6 次年度の改善策

- ・校内研修の他にも、相互で授業を見合える授業公開の機会を増やし、教員一人一人の授業力を向上させていく。
- ・研修で、カリキュラムマネジメントを研究していく。
- ・毎食後のはみがきタイムを日課の中に位置づけ、児童のむし歯予防の意識を高め、う歯治療率を上げていく。